

2023年8月1日

BMW グループ、2023 年の見通しを上方修正

ミュンヘン発： BMW グループは本日、2023 年の通期見通しを上方修正した。2023 年上半期の業績が堅調であったことから、当社は下半期も好調に推移すると見込んでいる。これは、継続的な受注残高の好調さと、プレミアム・カーの在庫状況の改善が見込まれることに基づく。

BMW グループは、財務指標に関するガイダンスを以下のように変更した。

- 自動車部門の顧客への納入台数は、前年同期比で堅調な伸びが見込まれる（以前は微増）。
- 自動車部門での、2023 年通年の EBIT マージンは 9~10.5% の範囲内に収まると予想される（以前は 8~10%）。
- 自動車部門の使用総資本利益率（RoCE）は 18~22% となる見込みである（以前は 15~20%）。
- ファイナンシャル・サービス部門の自己資本利益率（RoE）は 16~19% となる見込みである（以前は 14~17%）。
- さらに、自動車部門のフリー・キャッシュ・フローは、電動モビリティへの移行に向けた投資の増加や、市場への必要な車両供給を確保するための在庫の増加を考慮し、2023 年通期で 60 億ユーロを上回る見通しとなった。

なお、インフレとサプライチェーンによるサプライヤーの経費増が下半期も引き続き逆風になると予想する。この新たな見通しは、2023 年上半期および 2023 年第 2 四半期の、それぞれ以下の決算速報に基づいている。

- BMW グループの業績により、2023 年上半期のグループ EBT マージンは 12.6%、第 2 四半期は 11.3% となった。
- 自動車部門の上半期の販売台数は 120 万台で、前年同期比 4.7% の伸びとなった。
- 自動車部門の 2023 年上半期の EBIT マージンは 10.6%、第 2 四半期は 9.2% であった。これは、為替によるマイナス影響、原材料費および保証費用の増加にもかかわらず、販売台数の改善、有益な製品ミックス、および良好な価格状況によるものである。
- ファイナンシャル・サービス部門の税引前利益は 2023 年上半期で 17 億 400 万ユーロであった（2023 年第 2 四半期：7 億 5,900 万ユーロ）。

堅調な収益性により、自動車部門の上半期フリー・キャッシュ・フローは 31 億ユーロを記録。第 2 四半期のフリー・キャッシュ・フローは 12 億ユーロにとどまる。製品供給パイプライン構築の在庫増加、および素材・原材料コストの上昇が逆風となった。

完全な四半期決算と見通しに関する声明は、2023 年 8 月 3 日に発行される 2023 年度半期報告書に掲載される。上記の財務指標の定義は、BMW グループレポート 2022 の用語集（335~340 ページ）に記載されている。

法律に従い、同時に特別公告も発表している。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>